

	<p>西東京市立ひばりが丘中学校 第2学年 第39号 令和7年2月4日発行</p>
---	---

修学旅行に向けて

2月3日（月）の4時間目に修学旅行に向けてのプレゼンテーションが行われました。飛鳥、奈良、京都へと時代をさかのぼる修学旅行です。1泊目の場所は奈良の飛鳥地方で民家ステイをすることが発表されました。これまで学習してきた西東京市ふるさと探求学習や都内めぐりで学んだことを民家ステイ先でプレゼンテーションする予定です。しっかり準備をしていきましょう。

保護者の皆様

2月3日の保護者会は、たくさんの方にご出席をいただきましてありがとうございました。修学旅行の荷物について、何人かの方からご質問をいただきましたのでお答えします。

「キャリーケースで行ってもいいですか」という内容です。確認したところ、民泊先からキャリーケースはご遠慮くださいとの連絡がありました。スキー教室で使用したリュックやカバンを使用するようにしてください。

今回はD、E組の校外学習（都内めぐり）の
作文を紹介します。

『「協登」の都内めぐり』

D組

「友と協登 in 東京」、これは今回のスローガンだ。最初にこのスローガンを聞いたとき、「協登」というのがあまりピンとこなかった。なぜなら、一言に協力を
する、といってもどうすればいいかわからなかったからだ。そんな「協登」を今回の都内めぐりで
実際に学ぶことができた。

そう思ったことは二つある。一つは、事前準備だ。もちろん、いい校外学習にするには事前準備が大切
だが、もちろん一人でこなせる量ではない。最初は、「こんないろいろなことを短い期間で全部やるのは
大変だ」と思った。しかし、班員一人一人、各々がやるべきことを、責任をもっておこなったことで、居
残りもなくスムーズに作業を終わらせることができた。都内めぐりを成功できたのも、このときのがんばりが大きな要因の一つだと思う。

もうひとつは、時間とスケジュールの管理だ。私たちの班では、時間通りに行動できたはずだが、その
要因も班員どうして協力できたからだと思う。全員がしおりを見たり、互いに話し合ったりしたことで
予定通り楽しく校外学習を終えられたと思う。

今までも、仲間と協力してなにかをする、という学習はありましたが、今回の都内めぐりでは特にそれ
が大事だったと感じた。また、これからもこういった機会はたくさんあると思うので、今回学んだことを
大切にしていきたいと思う。



「次につながる校外学習」

D組

「何とかなるか…」

私はそのような思いで校外学習の取組を始めた。去年に引き続き、実行委員をやり、学習係の担当もした。校外学習を通して、私ははじめと終わりで思いが変わった。その理由は二つある。

一つは、事前学習で班員と協力できたことだ。校外学習の係は、一つ一つ重要な役割があるので、それぞれに責任がある。学習係はスマートフォンの管理が一番重要なことだ。だから逆に、コースのことに關しては班の副班長に任せてしまっていた。しかし、それではいけないことがコースづくりを進めていくにつれわかっていった。係の仕事だけでなく、「校外学習が成功するかは自分たち次第」という思いにかわり、目的をもって計画を立てられるようになった。

もう一つは、校外学習中のことだ。途中までは計画通りに進み、順調だった。しかし、途中から時間が余ってしまう場面があった。事前学習でもっとしっかり調べ、何が目的か、何分必要かを詳しく決めたいと現場に行くことが大切だと改めて感じた。

実行委員としての準備が多く、班行動の細かいところまでできていなかったの、三年生で行く修学旅行では、色々なことを踏まえて、入念に計画したいと思った。

今回の校外学習は、今までよりも行動範囲が広く、計画や班員全員での協力が必要とされた。来年の修学旅行では、校外学習で学んだ協調性と計画性を大切にしていきたい。



「カレー屋がなかった」※一部抜粋

D組

私は今回の校外学習で初めて浅草に行きました。上野や東京駅には一度行ったことがありましたが、改めて学習としてみると、新しい発見や疑問に思ったことがあったりして楽しかったし、班の人とも仲が深まりました。

特にこれといったハプニングはなかったけど、しいて言えば、お昼を食べるまでに時間がかかったということです。すごく並んだ、とかではなく、すごく探したんです。

私の班は東京駅にある店で食べようと思っていたのですが、どこにあるか、地図を見てもわからず、班に一台あるスマホで調べてもわからなくて、迷いに迷った結果、二十分くらい経って見つけました。

急いで食べることになってしまったけど、カレーはすごくおいしかったです。



「校外学習」

E組

今回の校外学習を一言で表すとすれば、私は「土台」だと思う。

私は、この都内巡りでどうしても成功させたいものがあった。それは、去年の川越の反省だ。去年の川越は失敗もあった。予定もうまくいかず、トラブルも起こった。今、思い返して気付いたことは、普段通りに行くという基本ができていないということだ。

この反省をいかして臨んだ都内巡り。地道に計画を立て、多くの時間を使って予算を立てた。およそ2カ月で作り上げた都内巡りの準備は、ほぼ完璧!これでもう、現地に行く土台はできている。

本番は、ほとんど計画通りに進んだ。いくつか心配は見られたものの、班員同士でフォローすることによってうまくいった。たった1日のために、私たちはその何十倍もの日にちを使って、本番のための「土台」を作った。だからこそ、フォローし合えるような心の余裕があったのかもしれない。

私は、都内巡りで、準備すること＝土台をつくることの大切さに気付いた。せっかくの都内巡り1日を密度の高い都内巡りにするには、やはり完成度の高い準備が必要になった。これは、都内巡りだけに言えることではない。例えば、何かの試験を受ける時も大切だ。だから私は、この都内巡りで大切だと思ったことを生活に思ったことを生活に活かしていきたいと思う。



「都内巡り」

E組

1月の寒い中、僕は都内巡りに行った。都内へは何回も行ったことがあるが、クラスメイトと行くのは初めてだった。1年前、友達と行った時は、計画も立てずに行き当たりばったりだったが、今回はしっかりと計画を立てていった。僕はとても自由で気ままな性格で計画を立てていくことはあまり好みではないが、クラスの人と行くと実際とても面白くてとても良い体験ができた。浅草寺へ行くと思っていた以上にとっても混んでいて困った。でも、すごく賑やかで楽しかった。昼食を食べに行った店も店長さんが優しくとても雰囲気良かった。一品頼んだらジュースがついてきて、充実の昼食だった。お土産は、色々あったけど大和さんがおいしくて安い人形焼きを知っていて助かった。昼食の下の店に雷おこしが売っていて、色々な味があった。その中でミルクティーと抹茶で悩んだが抹茶にした。今回の都内巡りは、勉強になっただけでなく、友達と協力したことで仲が深まった。

ちなみに、浅草寺のお賽銭のところでは中国の人にお賽銭の仕方を教えて欲しいと言われて教えたら、「ペこり」としてくれてとても嬉しかった。とても良い日だった。

